

2017年4月3日

関係各位

野村ホールディングス株式会社

2017年度野村グループ入社式、永井浩二グループCEO訓話要旨

入社おめでとうございます。グループを代表して、皆さんを心より歓迎します。

野村グループには、世界中で働く多くの社員がおり、その国籍は七十数カ国に及びます。これらの多様な人材は野村グループ最大の財産です。さまざまなバックグラウンドや価値観を互いに認め合い、意欲があり前向きに挑戦する人であれば、誰でも能力を発揮できる、野村はそういう会社です。皆さんも今日から野村グループの一員として、自身の力をこの大きなステージで思う存分発揮していただきたいと思えます。

皆さんが野村の一員となるにあたり、これまで野村が大切にしてきたこと、そして、これから皆さんに望むことについてお話しします。

大阪で創業し戦後になって東京に進出した野村は、東京では後発の一業者に過ぎませんでした。そうした中で我々の先輩が「顧客第一主義」、すなわち「すべてはお客様のために」という基本観のもと、「明日は今日より成長しよう」という「あすなろ精神」、言い換えれば「チャレンジング・スピリッツ」を持って、さまざまなイノベーションに挑戦しながら事業に邁進し、今日の地位を築いたのです。我々が今まで大切にしてきたのは、まさにこうした「変革と挑戦」の精神です。

世界は、従来の価値観の通用しない、新たな局面に入ったと言えます。昨年を振り返っても、Brexit やトランプ大統領の誕生など、「まさか」と言える想定外の事象が立て続けに生じ、まさに「不確実性の時代」が到来したと言ってよいと思えます。今後も我々を取り巻く環境は、これまで以上のスピードと振れ幅で大きく変化していくことと想われますが、忘れてならないのは、「既存のマーケットのチャンピオンほど、現在手にしているビジネス基盤や市場シェアに固執し、新たなイノベーションや社会の変化がもたらす新しいマーケットを取り込めず、その結果、市場から淘汰されてしまう」という、いわゆる「イノベーションのジレンマ」です。

時代は我々の予想を超えて変化していきます。証券ビジネスは変化対応業であり、それに携わる我々は、常にチャレンジャーなのです。皆さんも、「リーディングカンパニーに入社した」と満足せず、「変革と挑戦」という言葉をしっかりと胸に刻み、「自分の頭で考え、判断し、行動する」野村マン、野村ウーマンになっていただきたいと思えます。野村が皆さんと共に目指すのは、「今まで以上の未来」です。

以上